

## 天空佳<sup>ミヤタケ</sup>がす炎の柱

4年に一度の敬満大井神社祭典（千頭）は10月23日に開かれた。山車が地区内を練り歩き、住民総出の輪踊りがにぎわいを見せた。写真は夜の部。手筒花火の炎が暗闇を真っ赤に染め上げる。かなり重量がある中筒を、男は軽々と頭上へと持ち上げ、観客に披露。火の粉を体全体に浴びながら、それでも微動だにしない勇ましい男のシルエットに、観客の拍手が鳴り止むことはなかった。 関連2—5ページまで



2010

12

No.62

人々の熱気が伝わってくる。やつぱり祭りは地域力。

# みんなが笑顔、みんなが主役

## 歌い踊る

1さまざまな法被に身を包み、よさこいを踊る。どの顔にも楽しそうな笑顔がこぼれた  
2魔女っ子と大仏のダンス・コラボレーション。息もぴったり  
3夜のステージで体いっぱい使って踊る女の子のグループ。喝采を浴びた

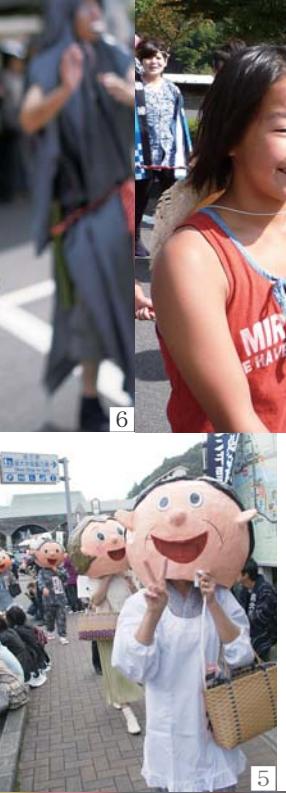
2



## 練り歩く

4笑顔で山車を引っ張る子どもたち。背中の麦わら帽子はお揃いで  
5サザエさん一家が千頭駅前に勢ぞろい。アニメと同様、陽気な家族だった  
6ゲゲゲの鬼太郎の「砂かけ婆」になりきって。向こうにはネズミ男の姿も

5



## 共に楽しむ

7君も一緒に踊らない?よさこいに興味津々の子たちを誘ってみる  
8妖怪の着ぐるみに身を包んだ人と談笑。どんな話に花が咲いているのだろうか  
9「いかがですか」と来場者にお神酒をふるまう巫女服の男性

9



みんなでやるから楽しめる

山車一行は、約3時間かけて地区をぐるっと一周し、大井川鐵道千頭駅前に姿を現した。人波であふれた駅前広場は、盛大な輪踊りや太鼓などのパフォーマンス会場へと一変した。「一体どれだけ練習したんだろう」と観客がため息を漏らすほど息の合った踊りが続く。練り歩いた疲れなんか感じさせない。笑顔あふれる人の輪は、さらに広く、大きくなつていった。

「この近辺で、これほど大規模な仮装行列は珍しいと思うよ。われわれはね、4年に一度、この日のために何ヶ月もかけて山車を作り、集まつて踊りを練習して、当日を迎えるんだ。みんなでワイワイするのが楽しいのさ。この祭りはそういう祭りなんだ」と話しかけてきた男性の言葉に納得した。

## みんなでやるから楽しめる

は満点。見上げるほどの大きさに思わず息をのむ。  
住民のコスチュームだって負けではない。法被姿はもちろん、メード服、魔女っ子、サザエさん、チョッパー（トナカイ）の着ぐるみに鬼太郎のちゃんちゃんこ…。見ていて本当に楽しい。「観客に喜んでもらいたいし、自分たちも楽しみたい」という気持ちが伝わってくる。沿道から声援を送る住民の笑顔を見るたびにそう感じた。

4年に一度、千頭がはじける  
「サアサア、祭りの始まりだあ」  
秋晴れの10月23日正午。勇ましいかけ声が大空に響く。住民の心をつなぐ祭りの幕開けだ。千頭・敬満大井神社祭典は、4年一度開かれる。毎回、趣向を凝らした山車が地区を練り歩き、観客を巻き込む輪踊りが大変にぎわいを見せる。文字通り、住民総出の盛大な祭りだ。本川根小学校前に集結した巨大な山車たちが、先導車に続いて進み始めた。どの山車も、地区住民がアイデアを持ち寄り、材料を調達し、何ヶ月もかかつて造り上げた力作ばかり。迫力



## 元気をもらいました

千頭のお祭りには初めて来ましたが、「ここの人たちは、これが当たり前のやう」って思うくらい、みんなパワーがありました。長い時間をかけて、練習や準備をしてきたんだろうなあ。1日いるだけで、こっちも元気をもらった気がします。みんなで創り上げている雰囲気が伝わってきて、すごく楽しかったです。



緑のふるさと協力隊員  
高瀬美智子さん

「この日が来るのを待つてたんだよ」

「こんな仮装行列、ほかでは見ないでしょう」



「何ヵ月もかけて、ずっと準備してきただんですよ」



花火。「皆さんのご多幸を願つて」と口上が述べられた後、最初の手筒花火が点火される。真っ赤な炎が4本、5本と夜空を染め上げる。さながら炎のカーテンのようだ。降り注ぐ火の粉をものともせず、手筒を抱え雄叫びを上げる男たち。観客から送られる大きな拍手とかけ声が、千頭の夜空にいつまでも響いていた。

祭りを彩った大きな山車のほとんどは、数日の内に住民の手で解体される。この辺りの潔さも、祭りの醍醐味なのだろうか。笛や太鼓、歌や踊り、かけ声、汗、笑顔、躍動感、きずな…。祭りは「地域の住民力」。つくづくそう感じる一日だった。

住民力がここに実る

本ページ掲載写真は、すべて祭り会場で見かけた人たち。さまざまな仮装が千頭の町にあふれかえた。それを見つめる来場者には、終始楽しそうな笑顔があった。祭りを「音の迫力」で盛り上げた赤石太鼓保存会や、交通整理・花火の防火を担当した消防団などの「縁の下の活躍」も忘れてはならない。これこそ住民力が創り出す祭りの結晶だ。



地区を練り歩いた山車（右小写真）・出し物

- ①千頭西区 ドラゴンボール
- ②千頭東区1、2、3、4班 サザエさん
- ③千頭東区5、6班 AKB56メイドカフェ
- 沢間区 狐の嫁入り
- ④寺馬区 ワンピース
- 千頭東区7、8班 千頭よさこい（狐の嫁入りver.）
- ⑤桑の実 ゲゲゲの鬼太郎
- ⑥赤石太鼓保存会 太鼓屋台
- ⑦中部電力株式会社 からくり屋台



フォトグラフ  
千頭・敬満大井神社祭典

ここにも、一つの物語。  
広報かわねほんちょう



特設ステージでは有志のバンド演奏などが祭りを盛り上げました。着ぐるみもいい感じ。



佐藤町長にエコアクション21取得の経緯などを報告する中村國海商工会副会長。

めっきり肌寒くなってきましたね。秋の一大イベント開催。

## 古里の秋の到来告げる 奥大井ふるさと祭りを開催

this month  
HighLight  
2  
今月の注目

本町秋の風物詩「奥大井ふるさと祭り」が開かれました。  
音戸の郷周辺は黒山の人だかり。出店者、来場者、ステージ発表者…。  
みんなが一体となって創り上げる祭りをカメラが追いました。

1 つるかご細工はかなり力がいる業ですが、完成すると本当にすてきな物になります。2 つきたてのもので大福を作る女性陣。あつという間に売り切れました。3 商工会ブースではお汁粉などが大人気でした。やまめの塩焼きがおいしそう

本町の秋の到来を告げる「奥大井ふるさと祭り」(奥大井ふるさと祭り実行委員会主催)は11月13日、音戸の郷駐車場周辺で開催され、大勢の来場者でにぎわいました。特設ステージでは、赤石太鼓の迫力ある太鼓の音、津軽三味線の澄んだ音色やアマチュアバンドによる軽快な演奏などが会場を沸かせました。展示・販売ブースでは大根そば、手打ちそば、つきたてのもち、お汁粉、ゆず、茶などの味覚や地場産品を販売。千年の学校のブースで販売された焼き芋はまたたく間に売り切れるほどの人気でした。お茶の手もみ実演、ゴミ出しルールに関するクイズ、つるかご細工教室などの体験コーナーも人気を集めました。晴天に恵まれ、大勢の人が秋の一日を満喫しました。

### 秋の到来を告げる祭り

株富田工務店の富田道明代表取締役は「われわれの仕事は環境のためになるという誇りを持って取り組むことができます。社員がそれを実感できるのは大きなプラスです」と話しました。



報告を受け佐藤町長は、「環境問題が注目される中、積極的に取り組む事業所が出てくることは大変ありがたいこと。コスト削減に努めてもらい、商工業の発展、町の活力へつなげてほしい。ほかの事業所にも投げかけるなどして、さらなる広がりを期待しています」と激励しました。

現在町内では、2事業所が認証取得の準備段階にあり、さらに4事業所が取得に向けて動き始めたとのこと。官民一体となつた「環境負荷の軽減」への取り組みが、広がりを見せてています。



写真左から (株)富田工務店 富田道明代表取締役、(有)中村工務店 中村國海代表取締役、佐藤町長、(有)川根衛生社 渡辺勇代表取締役、川根インダストリー(株) 櫻下昌市代表取締役

### 町長に取得報告

本町商工会では昨年度、エコアクション21認証取得を目指す町内事業所を対象とした講習会を実施。環境方針の作成や活動計画、申請方法などについて学びました。そして、今年の7月から8月にかけて、町内4事業所が審査を通過。正式に認証を取得しました。

取得が実現した4事業所の代表者は10月18日、佐藤公敏町長を訪問し、取得に至る経緯などを報告しました。

環境への配慮は欠かせない取り組みとなっています。

## 環境への配慮に努める 4事業所がEA21認証取得

町内4事業所が審査を通過し、正式にエコアクション21認証を取得。10月18日、取得が実現した4事業所が商工会千澤利通本川根支所長と共に佐藤公敏町長を訪問し、その経緯などを報告しました。



益井悦郎さんが入れたお茶を、楽しそうに談笑しながら味わう参加者。



産業文化祭の特設ステージで挙行された表彰式には本年度受賞者6人（団体）が出席しました。

川根茶の本場川根本町で、韓国人がお茶について学びました。

## 韓国からのツアー客に 川根茶を活用したもてなし

this month  
HighLight

今月の注目 4

韓国からのツアー参加者を本町に呼び込もうと、NPO法人かわね来風がさまざまなもてなしを企画しました。浜谷友子さんは「川根茶の産地を知ってもらうことに意味がある」と話しました。

韓国から訪れたツアー客をお茶でもてなす

世界お茶まつり2010は10月28から31日の3日間、静岡市の県コンベンションアーツセンターで開催されました。この催しに来場する韓国人ツアー参加者を川根本町に呼び込むプランをNPO法人かわね来風が企画し、10月27日に実現しました。

この日本町を訪れた参加者は約70人は、最初に農林業センターを訪れ、茶の手摘みを体験。なんだお茶は平かごに入れてしばらく乾燥させたあと、参加者に配られました。このお茶は各参加者の手によって、バスの中で手もみされました。次の訪問地である茶茗館では、益井悦郎さんが手摘み・手もみした茶葉でお茶を入れました。器に注がれたお茶は紅茶に近い黄色。一口飲むと、お茶を試飲した韓国人女性は「青くささが少しありますが飲みやすいです。紅茶っぽい味ですね」と話していました。



茶茗館ではスタッフの手ほどきを受けながら川根茶を試飲しました。

this month  
HighLight

今月の注目 3

## 長年の貢献に感謝の意 本年度の町長表彰7人受賞

産業文化祭の特設ステージでは本年度の川根本町長表彰の表彰式が挙行されました。さまざまな分野で貢献のあった7人（団体）を紹介します。

**芹澤徳治**（61歳・東藤川）  
【地域医療功劳】多年にわたり、元本川根本町議会議員・元川根本町議会議員として町の振興発展に尽力。地方自治の伸展に貢献。

**大下節男**（71歳・下長尾）  
【地域医療功劳】多年にわたり、本町で地域医療に従事。住民の疾病予防や治療に専念し、医療・健康にかかる功績を残した。

**山本秩子**（69歳・上岸）  
【体育功劳】多年にわたり元町体育指導委員として町の体育スポーツ振興に尽力。町民の体力向上と健康増進に貢献。

**有川根香味園**（千葉）  
【産業功劳】平成20年度の第62回全国茶品評会および平成21年度の第48回県茶品評会で農林水産大臣賞受賞。川根茶の名声を高め、茶業の振興発展に貢献。

**農事組合法人わらやま**（久保尾・向井）  
【産業功劳】平成18年度、第60回全国茶品評会で農林水産大臣賞受賞。川根茶の名声を高め、茶業の振興発展に貢献。



地域医療の功績が認められた大下節男さん。  
式典当日は欠席されたため、後日町長を訪問。

11月7日に開催された産業文化祭で、本年度の川根本町長表彰の表彰式が挙行されました。地方自治、地域医療、体育、産業の分野で特に顕著な功労があったと認められる人（団体）に贈られる賞で、本年度は7人（団体）が受賞されました。おめでとうござります。受賞者は次のとおりです。

※写真は表彰式のもよう。敬称略。

このページでは、カゼの予防、健康診断、心のケア、食事に関する豆知識など、皆さんが日頃気になっている健康に関するよもや話を、保健師・栄養士・看護師の皆さんからリレー形式でご紹介しています。

皆さんは「不眠」と「睡眠不足」の違いをまだ知らないですか。日本人は、遅寝上位者が多いです。お孫さんは何時に寝ていますか。日本人は、遅寝上位するか。日本人は、遅寝上位する人の中（12時以降に就寝する人の割合）6位、早く起きた人の中（朝7時までに起床する人の割合）8位と、両方上位10位に入る、世界でもまれな遅寝早起国なのだそうです。

皆さんは「不眠」と「睡眠不足」の違いをご存じですか。 「不眠」と「睡眠不足」の違いについて、あなたの睡眠時間はどのくらいですか。お子さんやお孫さんは何時に寝ていますか。日本人は、遅寝上位するか。日本人は、遅寝上位する人の中（12時以降に就寝する人の割合）6位、早く起きた人の中（朝7時までに起床する人の割合）8位と、両方上位10位に入る、世界でもまれな遅寝早起国なのだそうです。

皆さんは「不眠」と「睡眠不足」の違いを

人間の脳は、次のような作業によって、一日でかなり疲れてしまいます。

- ・パソコンに向かう仕事
- ・人間関係などの気遣い
- ・難題・難問への対応
- ・帰宅後のパソコンや携帯電話などで、睡眠時間が少なくなっている状態は、自分で作り出している「睡眠不足」ということになります。
- ・パソコンに向かう仕事
- ・人間関係などの気遣い
- ・難題・難問への対応
- ・帰宅後のパソコンや携帯電話などで、睡眠時間が少なくなっている状態は、自分で作り出している「睡眠不足」ということになります。

本人にはあまり「自覚症状がなかつたとしても、脳状態以上に疲れが溜まっています」。 そして、脳や心を休ませることはできるのは、「睡眠だけ」。このため睡眠は、人が生活していく上で非常に大きな役割を担っているのです。

睡眠不足が引き起こす体への悪影響には次のようなものです。

- ・高血圧や糖尿病などの身体疾患の誘因・増悪
- ・常習欠席（欠勤）の增加
- ・交通事故の誘因
- ・産業事故の誘因
- ※普段の睡眠2分の1時間の低下
- ・医療費の増大
- ・重感、不安、イライラ
- ・仕事の能率低下や生産性の低下

アルコールと睡眠導入剤

アルコール（いわゆる寝酒）と市販の睡眠導入剤の使い方については注意が必要です。

睡眠から始まる健康づくり

最近では、睡眠不足が高血圧、高血糖、肥満などを引き起こすという研究結果が報告されたり、睡眠時間を1時間増やすと血圧が低下するという報告もなされています。

「眠ること」から始まる健康づくり。あなたや、家族の「睡眠」について、もう一度考えてみませんか。

## 健康

### 知つてトクする

48



#### 今月の執筆者 松本尚子保健師

今月の「知つてトクする健康の話」のテーマは「睡眠について」。松本尚子保健師がご紹介します。

## 「眠ること」の大ささについて考えよう

### 「不眠」と「睡眠不足」の違い

あなたの睡眠時間はどのくらいですか。お子さんやお孫さんは何時に寝ていますか。日本人は、遅寝上位するか。日本人は、遅寝上位する人の中（12時以降に就寝する人の割合）6位、早く起きた人の中（朝7時までに起床する人の割合）8位と、両方上位10位に入る、世界でもまれな遅寝早起国なのだそうです。

人間の脳は、次のような作業によって、一日でかなり疲れてしまいます。

皆さんは「不眠」と「睡眠不足」の違いを

## の話

48

14



学芸員の説明に耳を傾けながらロダン作「考える人」像を見つめる中央小の子どもたち

11月11日、各小学校の子どもたちが見学に訪れました。

## 芸術の秋を肌で感じる文化会館で移動美術展開催

静岡県立美術館の作品を文化会館に展示する移動美術展2010。

11日のオープン当日には大勢の子どもたちが訪れ、楽しそうに作品を見て回りました。期間中の来館者は636人。大勢の人が芸術の秋に触れました。

文化会館では、11月11から14日までの4日間、静岡県立美術館の作品を館内に展示する「静岡県立美術館・川根木町移動美術展2010」を開催しました。これは町民の皆さんに芸術に親しんでほしいと文化会館が企画したもので、県立美術館の作品を展示するのは初めての試みです。  
11日前10時、見学第1号となる中央小5、6年生24人が来館し、オープニングセレモニーが開かれました。

県立美術館の神尾好行副館長は「県民の財産である県立美術館の作品群を多くの人に見てほしいと願い、移動美術展を開いています。ぜひ一つでも多く魅力的な作品に触れてください」と子どもたちにメッセージを送りました。セレモニーの後、子どもたちは学芸員の説明を聞きながら約50点の作品を見学しました。ロダン作「思考の人」の前では「この像は高さ38センチ。県立美術館には3種類の思考する人の像があり、これはその中でも一番小さなものです。「思考する」という行為

は頭を使ってすると思いがちですが、この像は体全体を使つて考えているんです」という説明にいたく感心した様子の子どもたち。像のポーズをまねする子もいました。このほか、富士山の絵画やトリックアート、静岡県ゆかりの作家の作品などを約30分かけて見て回り、最後にホールに置かれた伊藤若冲作「樹花鳥獸図屏風（複製品）」を見てほいと願い、移動美術展を開いています。ぜひ一つでも多く魅力的な作品に触れてください」と子どもたちにメッセージを送りました。セレモニーの後、子どもたちは学芸員の説明を聞きながら約50点の作品を見学しました。ロダン作「思考の人」の前では「この像は高さ38センチ。県立美術館には3種類の思考する人の像があり、これはその中でも一番小さなものです。「思考する」という行為

### 芸術に親しんでほしい



「ぜひ県立美術館にも足を運んでほしいと思います」と述べた神尾好行副館長

お気に入りの作品をスケッチする本川根小の女の子



テーマは「大自然のもと

ここひとつに2010」

## 住民の 町産業

①ちびっこ赤石太鼓で息の合った太鼓演奏を披露する徳山聖母保育園の園児たち。観客から「かわいい！」と声援が飛んでいた ②毎年恒例、中部電力株の木工教室コーナーは子どもたちに大人気。小さな部品を組み合わせ、かわいらしい動物を作っていた女の子 ③「この器、わたしが作ったんです」とうれしそうに見せてくれたみどりの丘えまつの手作り陶芸品販売ブース ④こどもプレーゾーンでは、女の子がフライングディスクによる的当てに挑戦していた。目が真剣 ⑤空手とリズムダンスを組み合わせた演舞を楽しそうに披露する日本松溝連盟川根支部の子たち。段々速くなるリズムについていくのも大変そうだった

飲食や物販のブースなど

飲食ブースでは、商工会や茶手揉保存会などがブースを出店しました。旬の食材を使つた弁当や大根そば、ゆずを使ったマーマレード、やまめの塩焼き、自然薯などが所狭しと並び、多くの人が秋の味覚を堪能。どのブースも人だかりができるほどのにぎわいを見せました。中には午前中で売り切れてしまうブースもあるほどの盛況ぶりでした。

一段下の駐車場を利用した物販・体験ブースでは、中部電力株による流木教室やさゆり幼稚園のバザー、千年の学校が製作したベンチの展示・炭の販売、交通安全協会の敏捷性テスト、みどりの丘えまり陶芸品販売などが軒を連

レーに感謝した歌、孫がおじいちゃんおばあちゃんに贈つたありがとうの歌、今は亡きお母さんにあてたメッセージなど、心が温かくなる歌の数々に、盛んに拍手が送られました。

健康まつりも同時開催

健康増進施設で開催された「健康まつり」では、ちびっこレースや使つた健康チケット、ゲームコーナー、体を動かしながらの体力年齢測定などが人気を集めました。会場の外では、食推協の会員たちが減塩みそ汁を振る舞い、来場者の心も体も温めました。

来場者は、深まりゆく秋を感じながら、所狭しと繰り広げられる多彩な催しを満喫しました。

## 心を一つにする 文化祭に多くの人出

this month  
Highlight  
今月の注目 6



### 特設ステージで数々の発表

⑥特設ステージでは静岡市町対抗駅伝競走大会の壮行会が開かれた ⑦飲食コーナーのおじさんキッチンブースでは手作りパウンドケーキを販売。またたく間に売り切れた ⑧ステージを見つめる来場者



午後は市民参加のコンサートを開催。事前募集していた「ありがとうございます」のメッセージが込められた歌詞が、4つまでの曲となり、プロのシンガーコンサート上田香さんの軽やかな歌声に乗せて会場内に響きました。

中学生の女の子がつづった感謝の歌、大家族が命のリニアするとスタンプを押してもらえるカードを手に、会場内を駆け回る子どもの姿が見られました。





見事な操法を披露した本町代表の第7分団（左）と第4分団の出場選手

飛んでいました。応援者、他の団員たちからは、大きなかけ声と拍手が飛びていました。

的確な動作で素早くポンプ車を操作する団員、ホースを担ぎ全力疾走する団員、まっすぐに火点を見つめ放水する団員…。真剣な表情の出場団員を見守る来賓、

**消防協会榛原支部操法大会を開催**

日ごろの訓練の成果をいかんなく發揮

**訓練の成果を披露し合う大会**

消防団は大規模な災害に備え、常日ごろから消防資機材の点検や操作方法の確認、地域の見回りなどに励んでおり、特に本大会に出場する団員たちは、この日のために何度も訓練を積み重ねてきました。

訓練披露は、ポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部に分かれて実施されました。本町代表の第7分団（ポンプ車操法の部）、第4分団（小型ポンプ操法の部）は、それぞれ種目の2番目と3番目に登場。これまで重ねてきた訓練の成果を存分に発揮して、見事な操法を披露しました。

平成22年度消防協会榛原支部操法大会は11月14日、中川根中学校グラウンドで盛大に開催され、本町、牧之原市、吉田町の消防団から約600人の団員が集結しました。

総務課☎ (56) 2220

## 自分がしたいことは何か 協力隊高瀬美智子さんが川根高校で講演

緑のふるさと協力隊隊員として本町に派遣されている高瀬美智子さん（群馬県出身）が11月1日、川根高校に講師として招かれ、全校生徒に向け講演をしました。8時40分から始まった講演では、生徒指導の須藤秀幸教諭の講師紹介の後、美智子さんがステージに上がり、協力隊の目的、きっかけ、本町の印象などについて、ときに身ぶり手振りを交えながら切々と語りました。生徒たちは真剣な表情で耳を傾けました。



真剣にステージ上の美智子さんを見つめる生徒たち

佐藤町政発足後、初の町政懇談会が9会場で開催されました。各会場では、佐藤町長から町政報告がなされ、参加者と積極的に意見を交わしました。

懇談会で出された意見などは、今後のまちづくりに生かされていく予定です。開催場所は次のとおり。

- 10月25日 小長井集会所
- 27日 山村開発センター
- 11月8日 中川根南部小学校体育館
- 10日 千頭東区会館
- 16日 藤川集会所
- 18日 本川根中学校格技場
- 22日 徳山コミュニティ防災センター
- 25日 地名集会所
- 30日 奥泉集会所

※詳細は今後の広報紙で紹介する予定です。

## 対話のキャッチボールを 町政懇談会を町内9個所で開催中です



山村開発センターで開かれた懇談会の様子。

## 「男の料理」その腕前は たちのぼる湯気と漂うおいしそうな香り

男の料理教室「おじさんキッチン」は10月21日、生活改善センターで開かれ、男性約20人が参加しました。今回のメニューは親子丼、とうふとわかめの味噌汁、栗入り蒸し羊羹の3品です。4つの班に分かれた参加者たちは、それぞれ役割を分担して、声をかけ合いながら料理に取り組みました。特に、栗入り蒸し羊羹は全員初めての挑戦。「羊羹って、こんなに手軽に作れるもんなんだね」と驚きの声が聞かれました。



分量を量る3人。何ができるのでしょうか。

## Topics 川根本町の まちの話題

新築住宅に補助金が交付されます  
条件をよく確認した上で申し込みを



**申請時期・補助額について**

補助金申請は、新築工事の着手日の30日前までに、建設課まで提出してください。

補助金の額は、新築工事費の100分の5以内とし、30万円が限度です。

新築を考えている人、詳しいことを知りたい人は、気軽に建設課までお問い合わせください。

建設課☎ (56) 2227

# 生涯学習のひろば

## 教育委員会生涯学習課

☎ (58) 7080

今月の予定

転ばないための工夫や頭を使ったレクリエーションも  
健康な毎日を送るため「**転倒予防教室**」に参加を

楽しそうに運動に取り組む参加者たち



B & G海洋センターでは地域包括支援センターと連携し、全地区を対象とした転倒防止予防教室「元気いっぱい教室」を開催しています。

教室では、日常生活の中での転ばないためのちょっとした工夫や実際に体を動かす運動、頭を使うレクリエーションなどを中心に実施しています。

転倒予防のためには、自分の体がどれだけ動かせるのかをあらかじめ知っておくことが最も大切であり基本です。でも実際

には、知っているようで知らない人も多いのではないでしょうか。こういった教室を通してそれを知ることは、ケガを未然に防止し、健康な毎日を送ることにつながります。

昨年実施した転倒予防教室のアンケートでは、実際体を動かして「楽しかった」という意見もたくさん見られました。

本教室は、来年3月までに全地区を巡回する予定です。お住まいの地域で開催する際には、ぜひ一緒に楽しみましょう。

## 文化会館自主事業舞台演劇・劇団たんぽぽ「赤ガラス大明神」笑いあり、涙ありの演劇が来場者を魅了



町内小学生、幼稚園・保育園児、授産所通所者を対象とした劇団たんぽぽによる舞台演劇公演は11月5日、文化会館で開催されました。

演目は「赤ガラス大明神」です。村人の女の子から神様に間違えられた赤ガラス。女の子の願いをかなえるため必死で頑張る赤ガラスの姿を、日本の伝統芸能（狂言）の演出手法で演じました。笑いあり、涙ありの演劇に、来場者は夢中になっていました。

ふるさと発見団では紅葉ハイキングを楽しみました

## わがまちの自然についてもっと知ろう



ふるさと発見団「わがまちの自然を知ろう！紅葉ハイキング」は11月6日、小学生13人が参加して実施されました。自然に詳しい澤本等さん（徳山）、鈴木正文さん（梅高）を案内役に、接岨地区のレインボーブリッジや八橋小道などを散策。草花を観察したり野鳥を観察したりと、子どもたちは興味深そうな表情で歩いていました。

散策の後は、資料館やまびこを見学し、グループごとに印象に残った風景などを絵で表現しました。

## 大人から進んであいさつする、ほめる、認める、感謝する 地域の青少年声掛け運動の協力者募集



地域の青少年への声掛け運動は、青少年に対して周りの大人が温かいまなざしを向け、大人から進んであいさつする、ほめる、認める、感謝するなどの声かけをきっかけに、青少年の健やかな成長を地域ぐるみで見守り、支援していくという運動です。現在、県内で約30万人が賛同し、取り組んでいます。

「地域の青少年声掛け運動」に協力していただける町民の皆さんには、町教育委員会生涯学習課へお申し込みください。実行章（バッジ）をお渡します。

4日㈯ 第11回静岡県市町対抗  
駅伝競走大会

6日㈪ すこやか大学学習会②（本川根小）

8日㈬ トレーニング講習会

（B & G海洋センター・午後7時30分～）

8日㈬ むつみ学級学習会③（視察研修）

10日㈮ B & G海洋センター利用者団体大掃除

11日㈯ B & Gクラブ⑪（島田チャンピオンスクール）

18日㈯ B & Gクラブ⑪（島田チャンピオンスクール）

今月の町民ギャラリー展示

①**大札山・蕎麦粒山写真展** 奥大井県立自然公園

～9日（海野泰一・西本敬：奥泉）

②**人権啓発ポスター** ～6日（福祉課）

③**刻字と書の作品展** (岩瀬順郎:千頭出身)

今月の文化会館口ビー展示

①**大札山・蕎麦粒山写真展** 奥大井県立自然公園

～1月11日（海野泰一・西本敬：奥泉）

②**税の習字** 10日～24日（町内小学生）

③**人権啓発ポスター** 6～13日（福祉課）



わたしも利用しています「中電オートリース」  
車検時の経費や毎年の自動車税…  
手間がかからず安心整備！ 安心ドライブ！

中電オートリース指定店

**川根自動車株式会社**

川根本町上長尾 869-2

TEL: 0547 (56) 0150

## ☆12月のお買い得情報☆ 丸山ラジコン早期予約キャンペーン！

例：新製品MS V413R2L 「2ch (巻取・E/G停止) -φ10mm×130m」 定価532,350円（税込）

12月20日までにご予約いただると、当店展示会価格よりさらに「4万円お得！」です

農機具の購入・修理・改造など、お気軽にご相談ください。地域のお店だからこそ、ていねいに分かりやすく、迅速に対応いたします！

**前田機材**

川根本町上長尾795-1  
IP電話 ☎ 050-3363-2252  
Fax 0006 Fax 0009





# もりのくに 冬が煌めくイルミネーション

白沢温泉もりのいすみでウインターイルミネーションの点灯セレモニー・11月12日

## 新たな観光スポットが誕生

観光施設「もりのくに(奥泉)」の指定管理者である㈱時之栖では、冬季の誘客を図るため、初の試みとして「ウインターイルミネーション」を実施することになりました。

同社が運営する施設としては、御殿場市にあるイルミネーションが有名で、シーズン中には多くの来場者が幻想的な光に心を躍らせます。

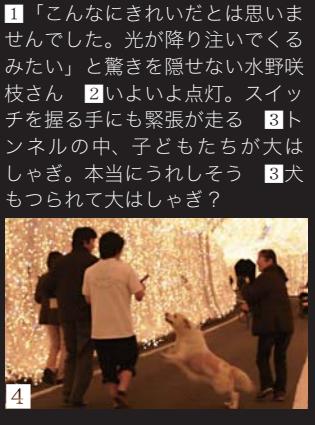
もりのくにのイルミネーションは、本家にひけをとらないトンネルは、本家にひけをとらない美しさを誇っています。

点灯セレモニーの前日、現地を見ると、トンネル内を丁寧に掃除するスタッフに出会いました。話を聞くと、「イルミネーションの準備、設営には2日半かかりました。本町、御殿場から多くの人が参加して一緒に造り上げたものです。トンネルの中を通るのも楽しいですが、下の段から見上げるのもお勧めですよ」と話してくれました。

11月12日の点灯セレモニーには佐

藤町長、町議会議員、町関係者、地域の子どもなどが出席し、もりのくに職員と共に、点灯を祝いました。午後5時、佐藤町長や子どもたちの手でスイッチが押され、まばゆい光が辺りを照らしました。子どもたちは、光のトンネルへと一目散に駆け出しました。

このイルミネーションは、11月12日から1月30日までの3カ月間、もりのいすみの営業日に点灯されます。時間は日没から午後9時まで(平日は8時まで)。もりのくにの夜を彩る光のシャワーが、あなたの訪れを待っています。



## み・す・し・る・べ

おじさんキッチンに参加して、親子丼を作りましたよ。



高瀬美智子 群馬県みどり市出身・緑のふるさと協力隊員第17期生  
緑のふるさと協力隊は、特定非営利活動法人地球緑化センターが推進する事業。農山村に興味を持つ若者を地方自治体に一年間派遣。隊員として、農業や観光施設などで協力活動をする。美智子さんは、本町4代目の隊員。「おじいちゃん、おばあちゃんが大好きなんです」と朗らかに笑う22歳。

秋が深まりつつある10月21日、生活改善センターで開かれた「おじさんキッチン」に初めて参加しました。この教室は、普段台所に入らない男の人を対象とした料理教室。おじちゃんたちが月に1回、季節に合わせた料理などに挑戦しているそうです。

グループに入れてもらつて、みんなで一緒に親子丼やおみそ汁を作りました。わたしが予想した以上に、おじちゃんたちの手際がよく、調理から片づけまで、あつという間に進んでいきました。

「家では料理なんてやつたことないよ」って言ってた人もいたけど、みんなエプロンと三角きん(バンダナ)が似合つていましたよ。なんだか学生のころの調理実習を思い出しちゃいました。マイまな板などを持参している人もいて、そのやる気がすごかつたなあ。

1時間くらいでおいしい親子丼が完成! わたしも自分で親子丼な

くて作ったことなかつたので、とても勉強になりました(笑)。その後一回も作ってはいないんですけどね。おじちゃんたちはどうでしようか…。

徳山区の地域行事「グラウンドゴルフ大会」に出場しました。グラウンドゴルフは初体験。まったくルールは分からなかつたけれど、教わりながらやってみると「案外面白いものだな」と思えました。だんだんクラブの扱いにも慣れました。調子に乗ると変な方向に打つてしまふことも…。でもなんとか参加賞はもらいましたよ。別の日には闘茶会にも参加しました。なんと2位に! さつとまぐれじゃないと信じています…。

畠ではイモムシたちが白菜の葉っぱをムシャムシャ食べています。わたしが食べるぶんには影響なさそうなので、仲良く共存していきたいと思っています。

